

# 2024年度 滋賀県小学生バレーボール秋季大会 滋賀県中央大会開催要項

|    |  |
|----|--|
| 主催 | 滋賀県バレーボール協会                            |
| 後援 | 彦根市教育委員会（予定）                           |
| 主管 | 滋賀県小学生バレーボール連盟／滋賀県スポーツ少年団バレーボール競技育成専門部 |
| 種目 | 男子6人制・女子6人制／混合6人制                      |

## 1. 大会の主旨

- ①教育的な配慮のもとにバレーボールを通じて滋賀県内児童の親睦と交流を図る。
- ②バレーボールによって小学生の体力の向上とたくましい意欲の養成に努める。
- ③低年齢から正しいバレーボールの基本技とチームプレーが体得され、楽しいゲームが出来るように指導する。
- ④コートのおおきさは8m×16m、サービスゾーンのお幅は8m、フロントゾーンのお幅は2.7m、ネットのお高さは2mとする。
- ⑤混合の部については、「全日本バレーボール小学生大会混合の部実施要領」の定めに従うこととする。（チーム編成、コート内の男女比率など）

## 2. 開催期日ならびに会場

- ①滋賀県中央大会  
〈開催期日〉2024年11月10日（日）  
〈会場〉プロシードアリーナHIKONE  
（彦根市スポーツ文化交流センター）  
（所在地）滋賀県彦根市小泉町640番地
- ②地区予選  
（男子の部）  
2地区に分け、各地区の定める開催実施要項により行う。  
（女子・混合の部）  
4地区に分け、各地区の定める開催実施要項により行う。

## 3. 開会式（県中央大会）

- 午前9時開始予定（受付は8時30分）  
○各チームはプラカードを持参し、選手は競技服装で全員必ず参加のこと。

## 4. 参加資格

- ①2024年4月1日に満12歳未満の者で参加申込期日前日現在、国・公・私立の小学校および各種学校に在籍していること。  
※県外在住者は、登録規定に従い正規の手続きを済ませ、双方の理事長に報告していること。
- ②（公財）日本バレーボール協会加盟団体登録規定にもとづき2024年9月12日（木）までに、チームは参加するカテゴリーの加盟団体登録届を提出し、選手をJVA-MRSへ登録しておくこと。
- ③混合の部に出場するチームは、「全日本バレーボール小学生大会混合の部実施要領」に定める参加資格を満たしていること。

## 5. 競技規則

- ①2024年度（公財）日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。  
ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を用い、21点3セットマッチ（3セット目は15点）、ラリーポイント制を採用する。

## 6. 競技方法

- ①男子の部  
県中央大会参加チームによるトーナメント戦を実施する。
- ②女子の部  
県中央大会参加チームによるトーナメント戦を実施する。
- ③混合の部  
県中央大会参加チームによるトーナメント戦を実施する。
- ④シードについて  
（男子）夏季大会にて優勝・準優勝したチームが県中央大会に出場した場合は、該当チームをシードとする。  
（女子）夏季大会にてゾーン優勝したチームが県中央大会に出場した場合は、該当チームをシードとする。  
（混合）夏季大会にてゾーン優勝したチームが県中央大会に出場した場合は、該当チームをシードとする。

## 7. チーム編成

- ①地区予選、県中央大会とも、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手は12名以内とする。
- ②同一人が2チーム以上の監督を兼任することはできない。
- ③県中央大会に参加する選手については、地区予選と同じでなければならない。選手は病気や怪我等特別な事情がない限り選手の交代はできない。但し、地区予選に11名以内で出場した場合は、12名に満たない人数のみ補充することができる。（補充は既に申し込まれた同一団体内に登録されている選手に限る）
- ④監督は成人であること。又、ベンチスタッフの1名以上は日本小学生バレーボール連盟認定指導者・日本バレーボール協会認定準指導員及び（公財）日本スポーツ協会（JSP0）認定スタートコーチ、バレーボール（コーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4）が最低一人はベンチに入っていないとなければならない。（ただし、本件は（公財）日本スポーツ協会の制度改正及び日小連指導者資格要領改正の時限措置として、2025年までは、旧全国小学生バレーボール指導者1次・2次講習会受講者が最低1人はベンチに入ることと、同様に扱うこととする。）また、試合時には証明書等を胸にさげていなければならない。
- ③11. ②項を受けて、実行委員会を開催し、運営についての

- ⑤ベンチスタッフは、JVA-MRSに登録され、かつ、宣誓

書に署名した者に限る。

監督、コーチ、マネージャーの服装は、短パン、Tシャツは不可とし、監督、コーチ、マネージャー章を各チームで用意し、必ず左胸に付けること。

但し、小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認め、Tシャツの色は他のベンチスタッフと同様の色でなくてもよい。

⑥他都道府県在住であって、移籍または新規登録した選手はベンチには3分の1以内とする。また、コート上には2名以内とする。監督は試合前に、他都道府県からの登録選手の番号を審判員と確認しておくこと。

⑦成人のベンチスタッフは、日常子供達の健全育成を目指して指導に当たっている都道府県大会実行委員会が認めた者であること。体罰、暴力、暴言、セクシャルハラスメント等、子供を指導する者として不適切な行為を行っている者の出場は認めない。

## 8. 大会使用球

(公財)日本バレーボール協会が推奨する人工皮革軽量4号球カラーボール「ミカサ (V400W-L)」 「モルテンボール (V4 M5000-L)」 (円周62~64cm重量200~220g) を使用する。

男子・混合 — ミカサボール  
女子 — モルテンボール

## 9. 競技服装

①選手の背番号は1~99とするが、1~12番が望ましい。ユニフォームの背番号等の色は、ルールに則って他の色と対照的な色を使用し、誰もが見えやすいものにする。

②混合の部に出場する選手の服装は、原則として男女で違うユニフォームを着用し、番号が重ならないようにすること。

なお、県中央大会で違うユニフォームを着用できない場合は同一ユニフォームでもかまわないが、男女の識別がはっきりわかるように各チームで配慮すること。

(ズボンの色を変えるなど)

## 10. 大会参加料

県中央大会出場チームは、1チーム5,000円を県中央大会抽選会に持参のうえ支払うこと。

## 11. 申込方法ならびに締切期日

①所定の申込用紙に、申込責任者が必要事項を記入のうえ、各ブロックの申込受付者まで提出すること。

締切期日：2024年9月13日(金) 必着のこと

※各地区開催要項の定める「申し込み締め切り期日」を確認すること。

②各ブロックの申込受付者は、申込書のチェック(登録情報と照合)ならびに申込チーム数を集約のうえ、9月14日(土)午前中までに、酒見競技委員長までeメールにより報告すること。

なお、申込書については、下記の実行委員会で競技委員長まで必ず提出すること。

送信先アドレス ryo.sakami@gmail.com

協議を行う。

<実行委員会>

日時：2024年9月22日(日) 全スポ滋賀県大会終了後

会場：瀬田公園体育館

## 12. 申し込み受付および問い合わせ

### ①地区予選

<申し込み受付> 全カテゴリともブロック長受付とする。  
<問い合わせ> 男子・・・各地区担当者  
女子・混合・・・各ブロック長

### ②県中央大会

申し込み受付、問い合わせともに競技委員長

## 13. 県中央大会抽選会

①県中央大会の組合せ抽選会を下記の日程により行うので、県中央大会出場チームは代表者1名が出席すること。

②出場各チームは、「県中央大会参加申込書」と「MRS加入選手ID一覧」を競技委員長まで提出すること。

日時：2024年10月30日(水) 19時00分より

場所：東近江市立八日市南小学校体育館<予定>

(所在地) 東近江市沖野3丁目6-1番地

※学校は会場をお貸しいただいているだけです。学校への問い合わせは絶対にしないこと。

## 14. 表彰

県中央大会の表彰は以下のとおり。

<全カテゴリ>

各ゾーン優勝チーム 盾(持ち回り)、賞状  
各ゾーン準優勝チーム 賞状

## 15. その他

①選手は大会参加申込の際、必ず健康診断を受けておくこと。

②大会中に選手が負傷した時は、応急の処置はするが、その後の責は負わない。

③大会の運営については、大会役員の指示に従うこと。

④近畿大会への推薦チームについて以下に記載。

【第45回近畿小学生バレーボール選手権大会】

日時：2024年12月7日(土) 8(日)

会場：県立橋本体育館(和歌山県)

・本大会の結果より、成績上位チームを推薦する。

以上

「コートにあふれる 笑顔と歓声 !!」

Thank You VBC 育てよう小学生バレーボーラー

・夢や目標を持ち、ねばり強く努力する子ども  
・バレーボールを通して、スポーツマンシップを身につけた心豊かな子ども

・感謝の心を大切にし、仲間と協力して活動する子ども

Thank You VBC 指導者の姿勢

・バレーボールの楽しさを教え、夢や希望をもたせる指導者  
・子どもたち一人一人を大切に、人間力のある子どもを育てる指導者

・常に学び続け、子どもや保護者、地域から信頼される指導者